

洲本市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査概要

1 調査の目的

この調査は、洲本市の「子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎となる、「幼児教育・保育・地域の子育て支援」の「量の見込み」設定に必要な、「今後の利用希望」を把握するため、子どもの保護者を対象として「ニーズ調査」を実施するものです。

2 調査の内容

(1) 調査の対象

対象となる子ども	対象となる施設・事業
① 学校就学前 児童(必須)	<p><教育・保育> 幼稚園、保育所、認定こども園、地域型保育（小規模保育、家庭的保育、居宅訪問型保育、事業所内保育）</p> <p><地域子ども・子育て支援事業※1> 利用者支援事業、地域子育て支援拠点事業、子育て短期支援事業（ショートステイ／トワイライトステイ）、ファミリー・サポート・センター事業、一時預かり事業、延長保育事業、病児・病後児保育事業、放課後児童クラブ</p>
②小学生（任意※2）	<p><地域子ども・子育て支援事業> 放課後児童クラブ</p>

※1 法定13事業のうち、国の「基本指針」において、ニーズ調査によって利用状況・利用希望を把握すべきとされている8事業。

※2 小学生対象調査は市町村の任意実施。

(2) 洲本市の人口データ（平成25年10月1日現在）

未就学児数 2, 172人 未就学児のいる世帯数 1, 597世帯
小学生数 2, 346人 小学生のいる世帯数 1, 762世帯

(3) 調査の内容

ア 調査の種類（別紙の調査票案をベースに作成）

- ・就学前児童調査 30設問程度
- ・小学校児童調査 25設問程度

※各調査には、市の独自性も勘案していく。

イ 調査設計

- ・調査地域 洲本市全域

※対象世帯を無作為抽出をします。

ウ 標本数

- ・就学前児童調査 1, 000サンプル
- ・小学生児童調査 1, 000サンプル

エ 実査方法

- ・就学前児童調査 郵送配布、郵送回収
- ・小学生児童調査 郵送配布、郵送回収

オ 調査のポイント

- ・事業計画の策定にあたり、施設・サービスの「量の見込み」の推計に不可欠な調査項目あり。
- ・ニーズが過大評価・過小評価されることのないよう留意。
- ・回答者を特定の傾向に誘導することとならないよう留意。
- ・調査を信頼性のあるものとするために、一定の回収率を確保することが必要。
→ 目標回収率60%と設定。
- ・回収率を確保するため、回答者の負担を可能な限り軽減。→「ひな形」の任意項目を精査し、設問数を絞り込む。
→ 分かりやすさ、読みやすさ、答えやすさを重視し、文章・言葉遣い・レイアウト等に配慮。

3 スケジュール

調査票の配布	平成25年 11月初旬
調査票の回収・集計	平成25年 11月下旬
調査票のとりまとめ	平成25年 12月中

4 集計・分析

回収する調査票は集計処理（単純集計、各項目のクロス集計）し、国の基本指針に基づいて新計画策定の基礎として必要な分析を行います。

（参考データ）

平成21年度に実施した次世代育成支援対策行動計画（後期計画）策定にあたって実施したニーズ調査について

調査対象	就学前児童のいる世帯、小学生児童のいる世帯
対象者数	2,000人
抽出方法	洲本市住民基本台帳より該当する保護者から無作為抽出
調査方法	郵送調査法
調査時期	平成21年6月15日から平成21年6月29日

アンケート調査の回収結果

	就学前児童のいる世帯	小学生児童のいる世帯	計
サンプル数	1,000	1,000	2,000
有効回収数	468	475	943
有効回収率(%)	46.8%	47.5%	47.1%